

宮城県道路防災対策検討協議会(国道349号丸森町地区)現地調査の概要

1. 日時：平成30年3月29日(木)
13時50分～16時

2. 場所：宮城県伊具郡丸森町地内

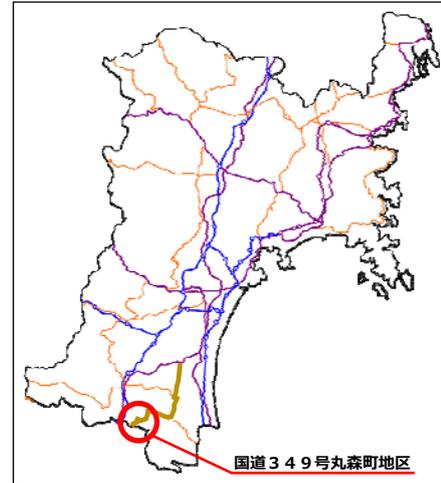
3. 出席者：

(委員)

飛田 善雄	東北学院大学教授
菊池 輝	東北工業大学教授
遠藤 雅司	国土交通省東北地方整備局仙台河川国道事務所副所長
菅野 洋一	宮城県土木部道路課長
鈴木 聡	宮城県大河原土木事務所副所長

(オブザーバー)

木村 勝美	福島県土木部道路計画課長
(代理:和田 眞	福島県土木部高速道路室長)



4. 議事：

- (1) 第1回協議会の指摘事項に関する報告
- (2) 現地調査(国道349号宮城・福島県境未改良区間の現状と課題, 必要性の確認)
- (3) 今後の検討の進め方

5. 議事内容(主な意見)：

- 崩壊や落石等のサイズは巨大なものはないと考えられるが、道路改良の検討・工事を行う場合、地質性状を安易に考えず、注意して実施しなければならない。
- 現在の道路は物理的につながっているだけで、機能的、技術的など質的に接続していく必要性を十分感じた。
- 現道はすれちがいが難しく、落石などの災害的なものにも考慮しないといけない。また、羽出庭大橋～兜橋間は対岸町道が迂回路として使えることが確認できた。
- 福島県側と比較して、宮城県側は地形が非常に急峻で、現道拡幅するのも困難である。